

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

2-⑩

施策

都市基盤の整備を図り、各地域・地区の活性化と連携を推進する

担当部局

建設局，教育委員会，文化産業局

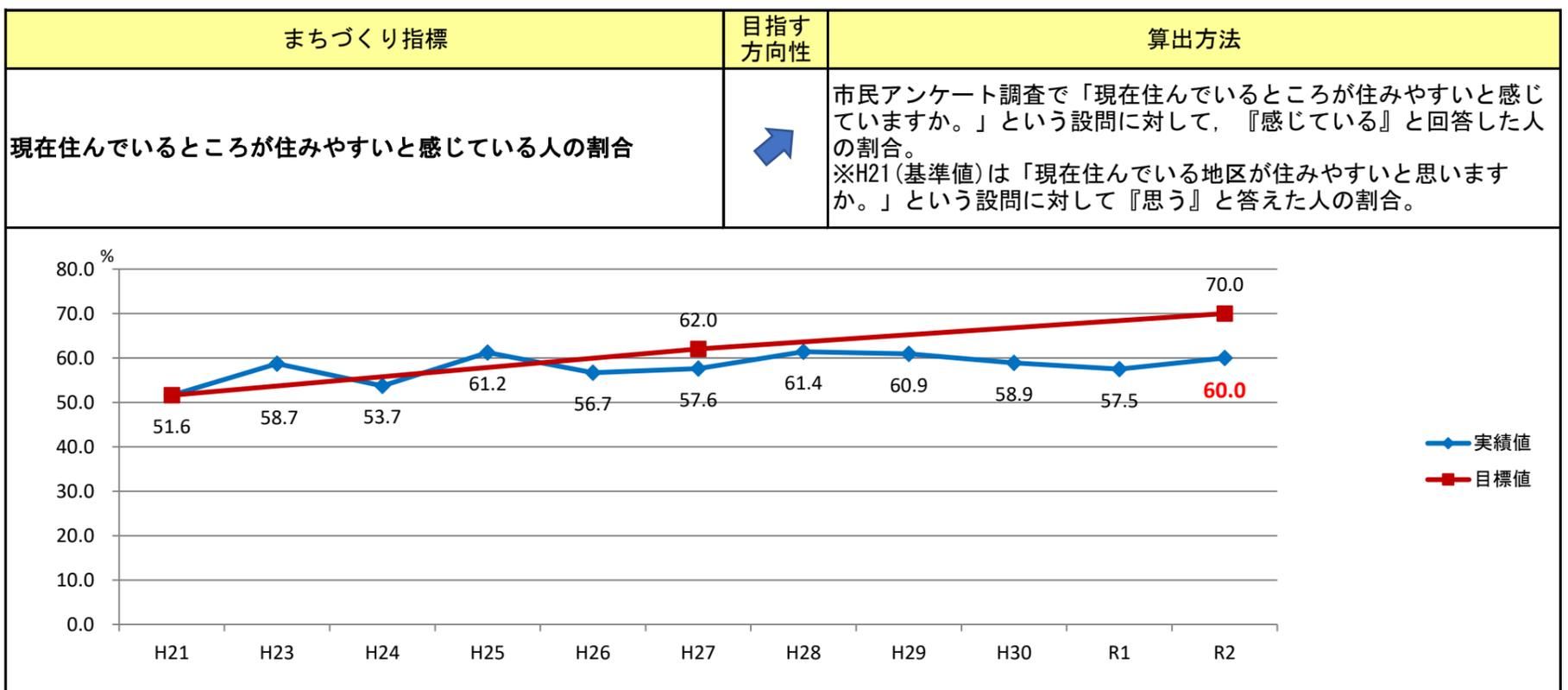
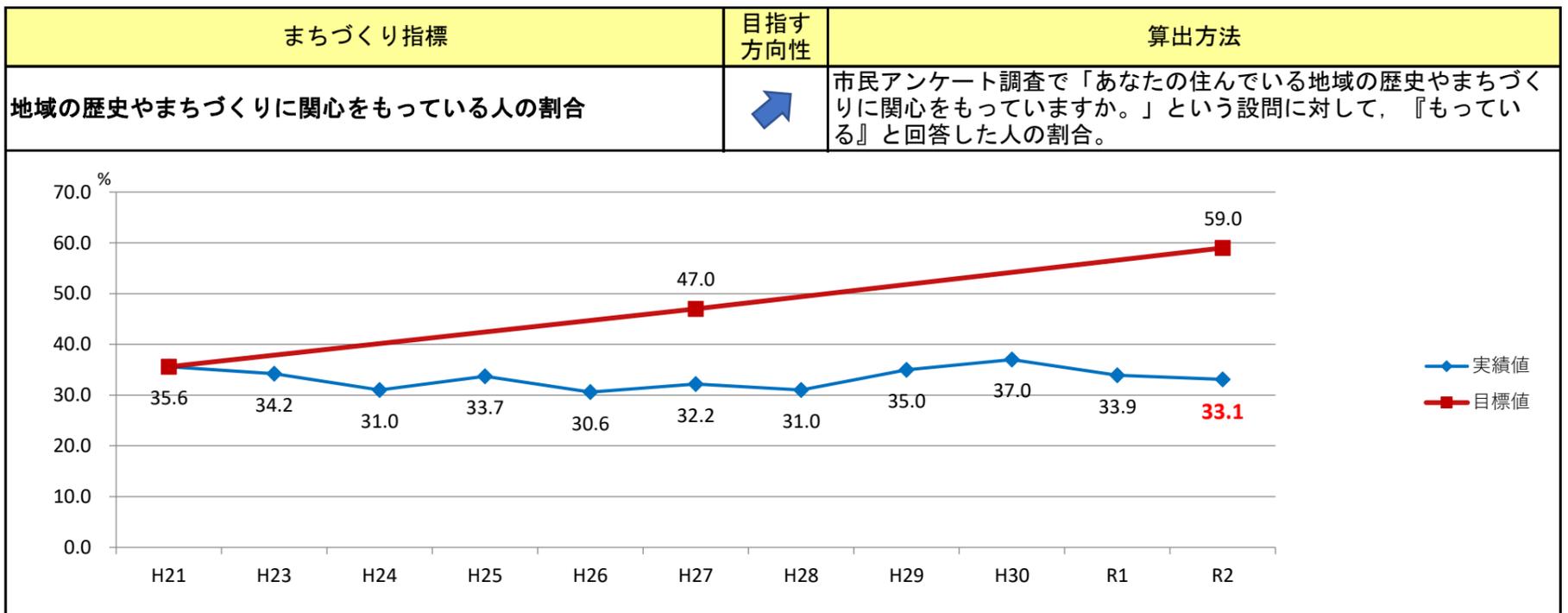


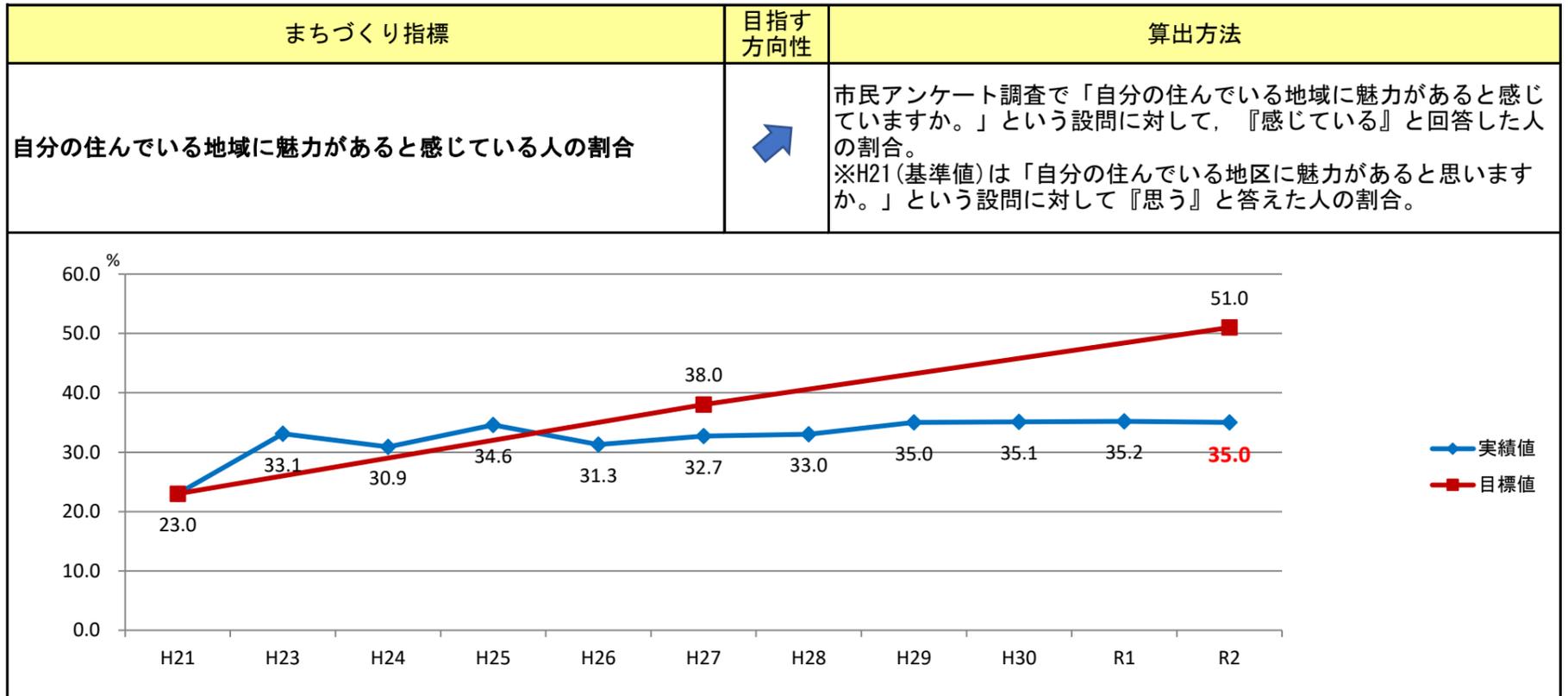
【躍動】めざまちの姿 特色を生かした各地域の活性化と住民の生活向上が行われている

市の基本方針

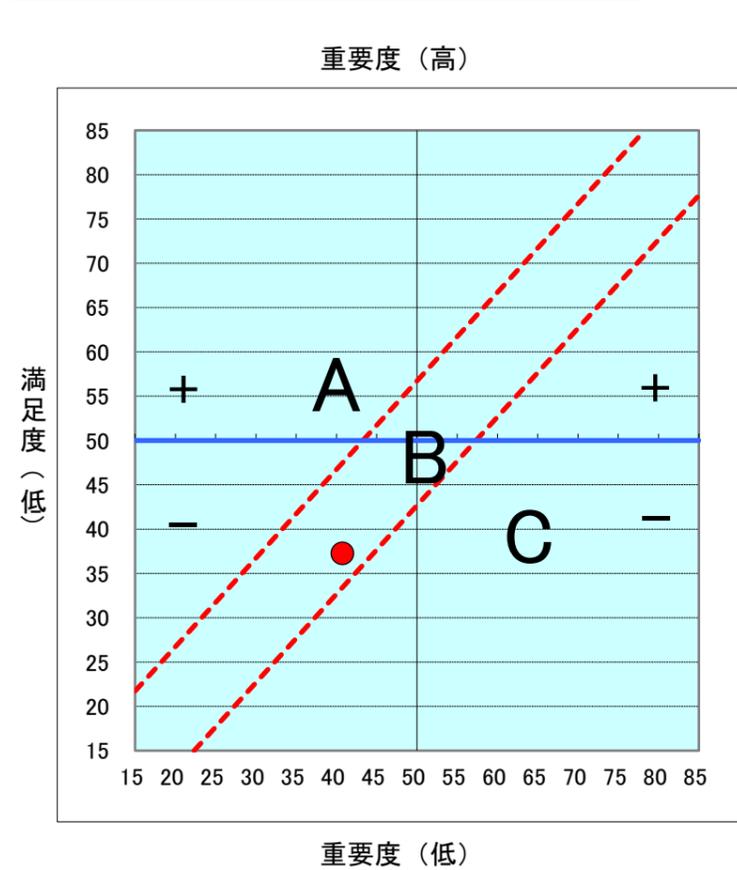
- 各地域・地区の個性を生かした魅力ある拠点形成を進めるとともに連携を強化し、相互に機能が補完された一体感のある整備を進め、市全体の活性化につなげます。
- 広域幹線道路網整備の促進による結節点の優位性・利便性の向上を図るとともに、地域間の主要幹線道路整備による交流・連携の強化、地域内の幹線道路整備による渋滞緩和や安全な歩行空間の確保を進めます。
- 生活の基本となる住環境整備に向け、身近な道路や橋りょう、公園などの整備・維持管理に努め、安全性と利便性の向上を図ります。また、高齢者向けの優良な賃貸住宅の供給を促進し、ユニバーサルデザインに考慮した市営住宅の建て替えや、既存市営住宅の効率的・効果的な長寿命化を計画的に進めます。

数値目標





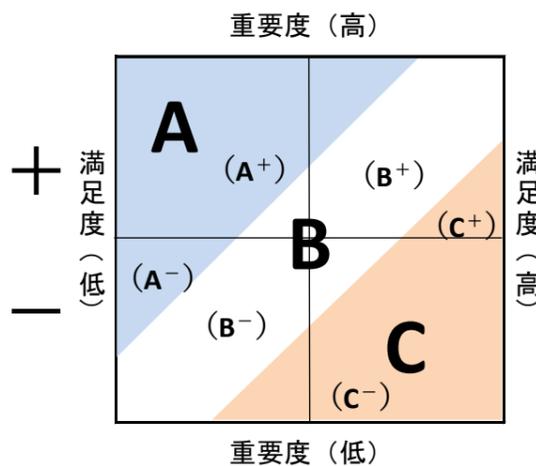
市民の重要度・満足度 (R3.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
B ⁻	37.26	40.76

●重要度に見合った満足度が得られている (B)
●重要度が平均値より低い (-)

【グラフの見方】



A : 重要度に見合った満足度が得られていない領域
 B : 重要度に見合った満足度が得られている領域
 C : 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割 (3×2領域)
 + : 重要度が平均値より高い部分
 - : 重要度が平均値より低い部分

A⁺, A⁻, B⁺, B⁻, C⁺, C⁻

A⁺ : 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
創	立地適正化計画策定事業	(Ⅰ) 都市再生特別措置法に規定する立地適正化計画を策定・公表する。 (Ⅱ) 都市機能誘導区域や誘導する施設、併せて災害リスクを踏まえた居住誘導区域の設定を行うとともに、国の会議と連携して本計画の防災指針の検討を行い、令和3年3月31日に計画を策定・公表した。 (Ⅲ) 令和2年度で完了したため、今後は、計画に基づく届出制度の運用などにより、緩やかな土地利用の誘導を進める。	9,398
	都市計画マスタープラン改定事業	(Ⅰ) 関連制度(立地適正化計画など)の反映等を踏まえ計画を改定・公表する。 (Ⅱ) 社会経済情勢の変化、上位・関連計画との整合、立地適正化計画などの関連制度の反映等を踏まえ、令和3年3月31日に計画を改定・公表した。 (Ⅲ) 令和2年度で完了したため、今後は計画に基づき、コンパクトで利便性の高い持続可能なまちづくりを進める。	430
公創	美観地区電線類地中化事業(再掲)	(Ⅰ) 当該エリアの将来にわたる魅力を創出する。 (Ⅱ) 阿知42号線外2線の本体管路及び引込管路埋設工事を推進した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	94,240
	町家・古民家で紡ぐ魅力拠点づくりと技術伝承事業	(Ⅰ) 町家・古民家の再生活用に必要な技術伝承の仕組みづくりを行う。 (Ⅱ) 「倉敷の都市景観の未来を創る新しい枠組を考えるシンポジウム」を2回、「町家・古民家保全につながる住宅防災シンポジウム」を1回開催した(参加者合計:209人)。また、町家・古民家の再生活用マニュアル等を改訂した。 (Ⅲ) 町並み保存の意識付けを行うとともに、町家・古民家の持続的な活用策や保全策を検討する場を提供するため、今後も継続して実施する。	1,572
創	まちづくり基金事業(再掲)	(Ⅰ) 街並み保全や地域の魅力向上、賑わい創出等のまちづくり活動を支援する。 (Ⅱ) 倉敷美観地区周辺と児島エリアにおいて、町家・古民家の再生整備支援を行い、修景修理に加え、民芸品制作・物販・宿泊等の魅力集客拠点・地域交流拠点の創出を支援した(9件)。 (Ⅲ) 年3回、倉敷市まちづくり基金活用事業の審査会を開催する。また、ホームページ等を活用し、市民に対して本制度の周知を引き続き図っていく。	13,730
	児島のまちづくり(児島駅前地区活性化事業)	(Ⅰ) 児島駅前地区の空間を活用した賑わい創出イベントを行う。 (Ⅱ) 市や児島商工会議所、児島駅前商店街連盟等で組織する「児島駅前まちづくり推進協議会」を開催し、児島駅の賑わい創出等について協議した。 (Ⅲ) 児島駅前まちづくり推進協議会を中心に、必要に応じて、民間主導のイベント等を継続して実施する。	-
	玉島のまちづくり	(Ⅰ) お茶文化と町並みを玉島地域の魅力として賑わいと活力を創出する。 (Ⅱ) 「玉島湊まちづくり推進協議会」において、お茶会初心者用パンフレット(1万部)や玉島の旬カレンダー(2千部)を作成するとともに、SNSを活用した情報発信を行った。 (Ⅲ) お茶文化と町並みを玉島の魅力として、今後も協議会を中心に、賑わいと活力を創出する取組を継続して実施する。	417
	水島のまちづくり	(Ⅰ) 水島地区の賑わいと活力を創出する取組を地域主導で検討・実践し、持続可能なまちづくりを目指す。 (Ⅱ) ワークショップを4回開催し、まちづくりの方向性を継続的に検討するとともに、まちづくり協議会の設立に向けての協議を地域主導により行った。 (Ⅲ) 今後のまちづくりの柱となる取組や活動母体の設置にかかる検討を継続して実施する。	453
公都	新田上富井線ほか幹線整備事業	(Ⅰ) 交通渋滞の緩和と道路ネットワーク強化を目的に道路整備を実施した。 (Ⅱ) 矢柄西田線において、道路用地を取得した。また、他の路線においても工事を推進した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	476,538
	公園整備費(施設長寿命化)	(Ⅰ) 老朽化等による事故を未然に防ぎ、安全・安心で快適に利用できる公園を維持し、将来における維持管理費の縮減や平準化を目的に公園施設の更新を実施する。 (Ⅱ) 向山公園ほか11公園38施設の更新を完了するとともに、黒崎新町公園1施設の更新に着手した。 (Ⅲ) 倉敷市公園施設長寿命化計画に基づき、継続して実施する。	136,257
	街区公園整備事業	(Ⅰ) 都市における緑とオープンスペースを確保し、快適な市民生活実現のため、住民がもっとも身近に利用できる街区公園を整備するとともに、既設公園の施設の充実と改善を実施する。 (Ⅱ) 令和2年度は高崎公園の新設整備及び宇頭間公園ほか16公園の施設改善等を進めた。 (Ⅲ) 継続して実施する。	165,018
	水路新設改良事業	(Ⅰ) 倉敷市内の水路改良を行い、農業基盤整備を推進する。 (Ⅱ) 万寿11-1号水路ほか32路線の水路改修等を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。	495,903
	市営住宅長寿命化維持管理事業	(Ⅰ) 倉敷市営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した市営住宅に対し、計画的な修繕及び改修工事を行い、住宅の延命化と施設の維持管理コストの削減を図る。 (Ⅱ) 計画に基づき、給水設備修繕等を実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	101,149